

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人美のりの里

本部運営について

1. 理事会の開催状況

	開催日	審議決定事項	出席状況
第1回	H28. 5/21 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営状況について 平成27年度事業報告、決算報告について 監査報告について のん美里ホームの施設整備について 評議員の退任に伴う補充選任について 	6/8名
第2回	H28. 6/18 (土)	<ul style="list-style-type: none"> のん美里ホームの施設整備について 	7/8名
第3回	H28. 11/12 (土)	<ul style="list-style-type: none"> のん美里ホームの施設整備について 社会福祉法人制度改革に伴う対応について 	6/8名
第4回	H28. 12/ 3 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営状況、経理状況について 社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について 	6/8名
第5回	H29. 1/6 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営状況、経理状況について のん美里ホームの施設整備の状況について 社会福祉法人制度改革に伴う対応について 	7/8名
第6回	H28. 3/11 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営状況、経理状況について 平成28年度第2次補正予算について 平成29年度事業計画案、予算案について 評議員の選任及び解任について(旧評議員体制の変更) 評議員選任・解任委員会運営細則案について 評議員選任・解任委員会の委員の選任について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程案について 	7/8名

2. 評議員会の開催状況

	開催日	審議決定事項	出席状況
第1回	H28. 5/21 (土)	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営状況について 平成27年度事業報告、決算報告について 監査報告について のん美里ホームの施設整備について 理事の退任に伴う補充選任について 	12/17名

第2回	H28. 6/18 (土)	・のん美里ホームの施設整備について	14/17名
第3回	H28. 12/ 3 (土)	・各施設の運営状況、経理状況について ・社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について	15/17名
第4回	H28. 2/21 (土)	・各施設の運営状況、経理状況について ・平成28年度第2次補正予算について ・平成29年度事業計画案、予算案について ・役員の選任及び解任について(旧役員体制の変更) ・評議員選任・解任委員会運営細則案について ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程案について	13/17名

3. 運営概況について

- 4月 5日 宇都宮市保健福祉総務課／のん美里施設整備事前相談（佐藤、大橋）
- 5月 9日 内部監査（矢野、鈴木順、池田、大橋、田中）
- 18日 ビルススタジオ・のん美里施設整備企画プレゼン（山田、佐藤、田中、石川、大橋）
- 9月10日 のん美里施設整備「みんなの家」／地域説明会
- 10月 6日 宇都宮市保健福祉総務課／保健福祉業務指導監査（田中、大橋）
- 12月 9日 宇都宮市保健福祉総務課／定款変更認可申請（田中）
- 1月 6日 法人新年会、永年勤続者表彰
- 2月28日 新役員体制打合せ（山田、佐藤、田中、石川）
- 3月31日 第1回評議員選任・解任委員会
- のん美里ホームの施設老朽化に伴う新築移転、「みんなの家」施設整備の実現に向けて、事業計画・収支予算の作成、事業企画の具体化、設計士との連絡調整、地域住民に対する周知説明など、支援対応を行った。
 - 宇都宮市保健福祉総務課による保健福祉業務指導監査があり、文書指摘事項はなく、概ね良好と認められた。
 - 社会福祉法人制度改革に伴う法令対応、法人運営の強化・透明化のために、定款変更、評議員選任・解任委員会の設置、新評議員の選任、新役員の体制づくり、諸規程の整備等を行った。

- 現況報告書、事業報告書、決算報告書等を法人及び社会福祉施設経営者協議会のホームページ上で公開する対応を行った。

4. 役員研修

期 日	研 修 名	主 催	参加者
H28. 7/8	社会福祉法人制度改革対応セミナー	県社協、県社会福祉施設経営者協議会	田中義博
H28. 8/29	社会福祉法人制度改革説明会	栃木県	田中義博
H28. 10/1	社会福祉法人役員・施設長への指導監査関係情報説明会	宇都宮市	田中義博
H28. 12/8	改正社会福祉法の施行に係る説明会	宇都宮市	田中義博

2016年度 事業報告

のん美里ホームながおか

I 事業内容について

1) 利用者動向

通所介護事業（月～日 1日あたり18名定員 5～7時間、7～9時間提供）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	前年度
要支援1	17	18	21	21	21	22	25	26	23	23	12	12	241 4.8%	172
要支援2	63	61	65	75	63	55	58	61	73	65	53	65	757 15.1%	679
要介護1	37	54	86	107	94	93	99	98	93	59	77	88	985 19.6%	828
要介護2	131	127	120	122	122	124	135	122	102	106	116	129	1456 29%	1763
要介護3	36	25	34	32	25	33	35	24	31	36	35	41	387 7.7%	626
要介護4	90	86	73	67	61	62	40	38	50	36	45	51	699 13.9%	418
要介護5	25	29	30	30	30	29	53	54	53	56	50	57	496 9.9%	362
月計	399	400	429	454	416	418	445	423	425	381	388	443	5,021	
前年度	434	430	418	449	413	386	383	369	405	375	397	389	4848	

通所介護（年間）・・・362日業 5,021人1日平均13.8人（昨年月平均利用延べ人数404人・4848人）

新規利用24名（他者事業所より9名のん美里居宅15名）・・・前年度13名
入所9名 入院4名 逝去4名 中止4名

居宅介護支援事業（居宅介護支援員4名・・・専任3名兼務1名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	前年度
要支援1	11	11	13	13	13	14	13	12	12	13	12	13	150 7.7%	132
要支援2	26	27	27	26	26	25	26	28	30	30	28	28	327 16.9%	326
要介護1	30	30	34	36	38	39	39	40	41	38	41	42	448 23%	470
要介護2	47	49	50	51	48	47	44	48	48	49	48	49	578 29.8%	511
要介護3	16	13	13	13	12	13	13	15	16	17	18	18	177 9.1%	162
要介護4	17	16	12	11	11	10	10	11	10	9	11	11	139 7.1%	135
要介護5	11	10	9	10	8	8	9	11	12	12	11	12	123 6.3%	151
月計	158	156	158	160	156	156	154	165	169	168	169	173	1942	
前年度	154	158	154	156	157	155	160	157	159	160	161	156	1887	

居宅介護支援（年間）・・・1942件（予防委託477件（換算239件）介護1465件）

新規利用者45名（地域包括より27名 他事業所2 知人より16名）
入所13名 入院10名 逝去17名 変更・中止4名

2) 職員配置

通所介護事業（H29/3/31 現在）

施設長(居宅・生活相談員兼務・常勤)1・・・社会福祉主事、介護支援専門員
生活相談員(専従・常勤)1・・・社会福祉主事、ヘルパー2級
生活相談員(介護職兼務・常勤)1・・・社会福祉主事、介護福祉士、ヘルパー2級
看護師(機能訓練兼務・常勤)1・・・准看護師
看護師(専任・非常勤)1・看護師(人材紹介11/1入職)
介護職員(相談員兼務・非常勤)1・・・ヘルパー2級、社会福祉主事
介護職員(専従・非常勤)4・・・ヘルパー2級、介護福祉士、社会福祉主事
調理員(看護師兼務・非常勤)1・・・調理師、看護師
調理員(専従・非常勤)1・・・調理師

*看護師1名退職(11月退職) 運転他1名(7月～3月)

居宅介護支援事業（H29/3/31）

管理者(通所兼務・常勤)1
居宅介護支援専門員(専従・常勤)3・・・社会福祉主事(2)、介護福祉士(2)、主任介護支援専門員(3)
看護師、認定ケアマネ、認知症専門員

3) 実施内容

① 通所介護事業

- ・交通規則を守り、安全にご自宅と施設の送迎を行う
- ・送迎専門職員の雇用に伴い、時間等の個別ニーズに対応できた
- ・体重測定や体調の変化などに十分注意し、家族・ケアマネ他との連携を図りながら健康管理を実施
- ・ご利用者さん、ご家族さんの立場に立って、物事を考慮し、ニーズに対応をしたケアを行う
- ・介護サービス計画に基づいてのサービス（入浴・食事・リハビリ他）の提供
- ・嗜好調査を実施し利用しながら、季節感のある食事の提供
- ・ご利用者さんの趣味活動・特技を生かしながら、自主性をもって活動に参加できるよう企画・取り組みを行い、意欲の向上に努めた
- ・ミーティングやケース検討会議等を十分にを行い、よりニーズに対応できるケアを職員間でも確認しながら取り組んだ
- ・サービス担当者会議への出席し、他事業者・他職種との連携を図りながら情報の共有・共通認識のもとチームとしての支援を実施
- ・身体能力の向上・維持の為、自宅へのリハビリ訪問を行いながら、情報収集、成果の確認し、取り組みました
- ・アンケートの実施や地域推進会議の開催
- ・事業所移転にむけての職員間の打ち合わせを行う

② 居宅介護支援事業

- ・申請代行・契約・相談・課題分析・ケアプラン作成・サービス調整・モニタリング・施設紹介他
- ・週1回のミーティングの実施（現状報告、困難事例検討他）
- ・9地域包括支援センターからの予防プランの受託対応
- ・特定事業所としての困難事例受け入れ
- ・24時間連絡体制（各自の携帯又は、管理者電話への転送）
- ・「デイとの合同研修」「ワンケア会」「ホームヘルスケアタウンうつのみや(寺子屋わーく)」等の研修会の企画事務局として研修開催し、自らのレベルアップとケアマネ全体の向上に取り組みました
- ・地域包括支援センター・医療機関・支援団体・近隣住民他連携をとりながら、利用者さんに対する支援体制を確立していく
- ・ニーズや利用者申し立てで、担当者調整を行う（場合によっては、事業所変更）

4) 日課

通所介護事業

利用者	時間	職員
来所 健康チェック、入浴	8:30	ミーティング、送迎自動車出発、準備
	9:30	挨拶、配茶、連絡ノート確認、健康チェック
	10:00	入浴介助、水分補給 活動支援(手作業、カラオケ、散歩他)
昼食 服薬 歯磨き 午睡	12:00	昼食準備、配膳、検食 食事介助、服薬介助、歯磨き介助
		連絡ノート記録他
フリータイム(ゲーム、会話)	13:00	午睡介助、離床介助、活動支援
	14:00	活動支援
活動(体操、レクリエーション、行事) 帰宅	15:15	おやつ
	16:00	送迎車出発 清掃、洗濯、明日の準備、記録
	17:30	業務終了 *随時、移動介助、排泄介助、見守り

5) 行事・活動

- ・別表参照
- ・例年と比較すると外出企画は少なめであった。
- ・手作業も季節感ある共同制作をはじめとして、個人の持ち帰り作品への取り組み、干し柿や漬物作り、洗濯物干し・たたみ、雑巾縫い他、強制ではなく、意欲的に楽しめる活動を実施
- ・書道や脳トレなどへの活動へも積極的に取り組む利用者さんが増えた。(作品掲示)

6) 職員研修・会議

- ・別表参照
- ・居宅・通所合同の施設内研修を担当制で実施
- ・他施設の見学の日程が組めなかった
- ・研修後は、報告書の回覧だけではなく、現場への反映の仕方が今後の課題

II 地域活動について

- ・フェイスブックの開始や利用者さん家族の写真の掲載などホームページの活用
- ・のん美里ホームの広報紙「のんびりだより」「医務便り」作成
- ・本人・家族提供の写真や作品の展示
- ・バルマークやペットボトルのキャップ回収・寄付(社会福祉協議会)、バザーの収益の寄付などの社会活動を利用者さんと共に実施する。
- ・保育園行事に対して、利用者さんからのプレゼントの作成やイベントへの協力あり。
- ・お話・折り紙、将棋、体操、マジック、習字、園芸、音楽(ケーナ・大正琴・三味線・コーラス・お囃子・ウクレレ・大衆演芸)など多くのボランティア活動の協力あり
- ・ご近所の方から新鮮な食材の提供の活用
- ・職員NHKのど自慢への予選出場

III その他について

1) 環境整備

- ・送迎車、訪問車5台の点検・整備
- ・ウィルス対策(置き型空気洗浄)手洗いうがいの徹底実施・・感染性の疾患の発症ゼロ
- ・機械浴槽やトイレタンク・洗濯機・空気清浄機他、施設内の設備の修理・買い替え実施

2) 職員の労働環境の整備

- ・29年度4月～処遇改善加算変更に伴い、キャリアパス作成による給与改定

- ・定期昇給・賞与支給(常勤 3.4～3.6 非常勤 1.0)で実施する。
- ・法人より、永年勤続者表彰(20年・10年)を受ける(3名)
- ・病気により療養中職員への必要手続き実施
- ・宇都宮医療保健事業団にて個別に健康診断実施(H29/3月)
- ・看護師資格受講中職員の勤務体制確保
- ・主任ケアマネ取得研修受講(砂川)
- ・研究会発表や講師依頼があった際は、事業所としてサポート
- ・職員の負担軽減策として補助金のもと介護用ロボット導入

3) 行政関係

- ・特定事業所としてケアマネ現任研修の受け入れを行う
- ・29年度4月導入の宇都宮市の総合事業実施に向けての運営規程・重要事項他変更
- ・社会貢献活動受け入れ2名
- ・平成28年4月から地域密着デイへ移行

4) 苦情・要望申し出

- ・入浴時の職員対応(履き替えてきたばかりの紙パンツが勝手に捨てられた)への苦情あり
⇒利用者さんに確認せぬまま処分したことに対して謝罪し、職員間の確認作業の徹底を行う
- ・利用者のホール内での座席に対して、(話をしに来ているのに、無口の人と一緒にでは意味がない)との苦情あり ⇒時折、他者との交流がうまくいかないこともある方なので、席交換後も職員介入を意識しながら対応する。
- ・送迎について(お迎え時間の変更や乗車時間が長い)の苦情 ⇒変動ない1番迎えて、コースを見直す、ある程度の乗車時間がかかることは説明の上、協力を頂く
- ・ケアマネへの苦情(服装や化粧が華美で、介護が必要などきに対応できないのではと不安になる)
⇒不快な思いをさせてしまったことに対して謝罪し、不満を聞いたうえで、事業所内で担当を変更する
- ・言葉遣いが荒い他の利用者に対して、利用させないで欲しいとの要望あり ⇒不快な思いをさせたことに対して謝罪した上で、職員が席等を配慮し、見守り対応していく

5) 事故報告

- ・帰宅送迎車が、前方不注意の車と接触し、車への傷のみで、乗車利用者さんは、ケガなし。
- ・送迎車への給油ミスにより、エンジントラブル・・・修理
- ・要介護5男性 利用者宅送迎時、移動時転倒・・・ケガなし
- ・要介護1女性 配膳時、お茶が利用者さんにかかってしまった・・・火傷なし
- ・要介護5女性 送迎車内で、車いす固定不備から車内リフトにぶつかる・・・受診 たんこぶあり
- ・要介護1男性 職員の対応に憤慨し、怒鳴りだし、周囲のものを蹴ったり、止めに入った職員に対して暴力を振るおうとしたりした・・・本人・家族・ケアマネで相談の上、利用終了となる
- ・要介護5男性 入浴着替え後、バランスを崩し、椅子ごと転倒・・・受診ケガなし
- ・移動中のケアマネ走行車に、一時不停止の車が突っ込み、車は破損

6) その他の報告

- ・年末は、12月31日まで、受け入れ実施し、1月1日～3日休業

平成 28 年度事業経過報告

	年間行事	職員研修	その他(行政・環境整備等)
4	お花見週間(外出・ドライブ) 14 お料理パーティ	1 施設内研修(感染症)	5 水道点検 13 タイヤ交換
5	母の日週間 菖蒲湯 13 ありんこ菖蒲湯交流 19 ねんりんピック見学 20 写真展見学	11 施設見学 14 ケアマネ研修 26 宇居連研修 31 地域合同会議	9 内部監査 21 理事会、評議員会 自動車免税申請
6	父の日週間 21 ありんこ交流会	7 市ケアマネ研修 10 ワンケア会(法テラス) 10 寺子屋わーく 15 ケアマネリハビリ研修 18~ケアマネジメント研修 23 地域包括研修	30 ノア点検・修理
7	七夕 2 ありんこ夏祭り参加 11 あぜみちへ買い物ツアー 31 流しそうめん	11 ワンケア会(住環境整備) 22 ケアマネ施設内研修 174 包括研修(砂・高) 30 ケアマネ研修(岡本)	
8	夏祭り週間 27 あぜみちへ買い物ツアー	4 寺子屋わーく(曠下) 25 デイ研修	10 ノア車検
9	長寿を祝う会(15~19) 8・11 ホットケーキ作り 13 ありんこ交流会	12 ワンケア会(地域連携) 16 寺子屋わーく②(全CM) 29 緩和ケア研修	10 地域説明会(地域推進会議) 8 エアコン修理 28 扉修理(岩淵組)
10	6・7 コスモス見学 9 外食 17 ありんこ運度会応援 23 りんご狩り	2 認知症フォーラム 5 ケアマネ研修 21 寺子屋わーく(在宅へ) 25 摂食研修	3 軽リフト修理 6 法人監査 7 県事業所説明会 16 テレビアンテナ修理
11	14 ありんこバザー出店 24 福祉プラザへ外食 27 フラワーアレンジ教室	7 在宅サロン 8 ケアマネ研修 16 記録研修(岩切) 17 病院連携懇親会 25 在宅医療研修	17 社会貢献活動受け入れ 29 理事会評議員会 23 タイヤ交換
12	ゆず湯 クリスマス忘年会 2 青木園芸外出 13 すいとん作り 20~25 クリスマス忘年会	12 ワンケア会 4 寺子屋ワーク	19 防災訓練 大掃除(職員)
1	お茶会、書き初め 12 ありんこどんと焼き参加 31 ありんこ交流会	19 介護ロボット研修 12 ケアマネ施設内研修 26 苦情解決研修	4 地域挨拶回り 6 美のりの里新年会 24 浴槽メンテ・修理(アマノ)
2	節分週間 12~14 バレンタインカフェ	9 寺子屋ワーク(運転) 20 認知症介護研修 27 他職種連携研修	1 市説明会 2~ケアマネ実習生受け入れ 25 ワゴン車車検
3	ひな祭り 18 ありんこ卒園式 24 ありんこ交流会	6 在宅サロン 6 主任ケアマネ研修 15 ケアマネ研修 14 ワンケア会 17 認知症研修	職員健康診断 22 集団指導(居宅)
備考	毎月誕生会・職員会議 避難訓練 のん美里便り配布		水質検査(日本衛生研究所) 消火器点検(防災システム) 検便(日本衛生研究所) マット交換他(ジャスト)毎月 床清掃(事業団)隔月

2016年度 事業報告

ありんこ保育園 2017/5/12

1) 事業内容

1、園児の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才児	5	5	6	7	7	9	10	12	12	12	13	13
1才児	12	13	13	14	14	15	15	15	15	15	15	15
2才児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3才児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4才児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
5才児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
合計	77	78	79	81	81	84	85	87	87	87	88	88

- ・利用定員 70名
- ・1歳児～5歳児の受入は安定した園児数でした。
- ・0歳児は3月にも受け入れを予定していましたが希望がありませんでした。

2、職員配置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保育士	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
園長・事務	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
調理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23	22	22

- ・職員体制
 園長 1名 保育士 18名(常勤 11名 嘱託職員 5名 パート職員 2名)
 調理師 2名(常勤 1名 嘱託職員 1名) 事務 1名
 計 22名(常勤 14名 嘱託職員 5名 パート職員 2名)
 (1月より1名疾病休暇より復帰)
 (9月から1月まで派遣契約にて保育士1名在籍)

3、保育事業内容

① 保育について

- ・子どもたちが主人公となる遊びや行事、生活の再確認をしながら保育に取り組んできました。
- ・子どもたちの健やかな発達を保障できる保育内容の向上を目指し、保育方針のもと年間計画を立てそれぞれの発達に応じた働きかけをしてきました。
- ・定期的な保育の確認と課題について会議や打ち合わせを実施し一人一人のケース検討や対応の仕方など話し合いを深めることができ保育内容の向上につながりました。
- ・一時預かり保育の子どもたちと散歩や園庭遊び等自然な形での保育交流を行いました。
- ・のんびりホームのお年寄りの方々と5歳児がしょうぶ湯に入らせていただいた後、ゲームを一緒に楽しむなど交流を深めました。ソーシャルファーム長岡では、さつまいも掘り、実っている果実をいただくなどの交流がありました。また、やぎのももちゃんとの関わりは、子どもたちの楽しみになっています。これからも地域の方々に感謝しながら保育を行っていきたいと思います。

②食生活について

- ・季節を感じられる楽しい食事を目指し、作っている人が見え、心の伝わる手作り給食を実施してきました。子どもたちは、楽しい雰囲気の中で本物の味を覚え食生活の基礎を作ることができました。
- ・地産地消で、より安全な食材を利用し、素材の味を生かした給食を実施してきました。
- ・地域の協力を得て野菜の収穫を体験し食生活につなげていきました。(放射能の影響を配慮の上)
- ・調理日、季節の行事食、お店屋さんごっこ、外炊き(釜使用)ご飯、魚の解体等年間を通し保育との連携を取りながら取り組んできました。
- ・給食懇談会、園訪問等で食事の大切さを保護者に伝えてきました。
- ・定期的な給食会議、打ち合わせ等を実施し食生活への向上につなげてきました。
- ・食品のモニタリング検査等、放射能による食品の安全性を確認しながら実施しました。
- ・とちぎ合研にて「ありんこの食」について提案し、改めて子どもたちの成長に食が深くかかわっていることを確認することができました。また、これからも食に関わる思いや伝統行事等を継続していきたいと思います。

③保護者とのつながりについて

- ・保護者と共に子育てを考え合えるよう、年度当初全体説明会を行い方針・計画等を伝えると共に保護者との意見交流の場となりました。
- ・年間を通し、園での子ども達の様子を伝えた連絡ノートや園だより、クラスだよりの発行、クラス懇談会等で保育を知らせてきました。
- ・園訪問、家庭訪問や個人懇談の実施は子ども(保護者)に寄り添い理解する上でよい取り組みとなりました。また、随時子育ての悩みや保育について保護者との懇談の場をもち理解を深めました。
- ・利用者との信頼関係の下、苦情処理制度を継続設置し、保護者の意見を反映できるよう実施しました。(第三者委員への苦情報告はありませんでした)

④健康、安全、保育環境について

- ・安全配慮の基本姿勢と具体的な対応について確認し保育にあたってきました。
- ・避難訓練、消火訓練、交通訓練等繰り返しの実施の中でスムーズな行動が取れるようになりました。
- ・園庭・砂場・園舎内の放射線量の測定を月1回行いました。数値は年間を通しほぼ一定でした。
- ・ありんこ保育園の保育を実践する上で、子どもたちの健康、安全、保育環境を考え対応してきました。特に交通安全について散歩コースの危険個所の確認を実施。また、園内外の整理整頓、危険個所、危険物の改善など定期的に確認し子ども達の安全に心がけをしてきました。
- ・散歩等自然との関わりを大切にした保育を行う上で子ども達の事故への配慮を心がけてきましたが、病院での治療が必要と判断したけがは10件(切り傷・打撲・骨折等)ありました。保護者への連絡方法等今までの事例を生かし適正な対応ができました。事故報告書の記入を実施し今後の安全対策につなげました。
- ・不審者対策として園内の通報装置設置の他、園外対応として携帯電話等職員間での申し合わせや緊急対策を行いました。
- ・年2回の健康診断(内科・歯科・ギョウチュウ・尿検査)の実施にて、園児の健康の把握をしました。
- ・心肺蘇生法・AEDの講習を行い緊急時の対策に備えました。
- ・衛生、安全のため、定期清掃(年6回)園内外整備(年1回)その他随時生活環境づくりを実施しました。
- ・毎月安全委員会を設置し、生活・遊具・園庭・教材等定期的に確認や点検を実施しました。

4、日課

7:00	開園 随時登園 自由遊び
9:30	遊び（クラス別保育）散歩・水・砂・どろんこ・リズム等
11:30	給食 添加物の少ない食材を使い心のこもった手作り給食
13:00	絵本・紙芝居・午睡
15:00	おやつ 手作りおやつ
16:00	自由遊び 随時降園
19:00	閉園 (※年齢によって生活リズムは時間差があります)

5、行事報告（別紙事業経過報告にて）

6、職員研修、会議、広報

①職員研修について

- ・保育課や保健所等公的な研修や自主的な研修の場も積極的に参加し多くを学ぶことができました。育てる会の講演会、栃保連の保育のつどい、栃木合研、保間研の研修会、保育プラザの研修会、リズムや太鼓の研修、全国規模の保育合研等日常の保育から離れ学習や交流の場となり保育実践につながりました。
- ・園内の学習計画を立て救命法等、自主的な学習会を行いみんなで共有できました。
- ・研修後は研修報告書に記入の上、提出。報告会の時間が十分でなく職員間での共有は課題と言えます。

② 会議、記録、広報について

- ・年間計画・総括・保育内容やケース検討会議を年3回行い保育の確認と実践につながりました。また、毎週打ち合わせ会議では行事、園児の状況の把握、研修報告等の実施で連携を密にしました。
- ・一時預かり保育室「こっこのいえ」と月1回の打ち合わせ会議を行い、連携を取りながら運営してきました。
- ・園長日誌、クラス日誌、児童票、ケース記録、毎日の連絡ノートの記入、給食関係の記録等の記入を行いました。
- ・毎月の園だより、クラスだよりの発行。この他保健だより、給食だより、行事だより等随時発行を行いました。育てる会では年3回のニュースを発行し保育園の状況等、会員への広報活動を行っています。

II) 地域関係

1、園外交流について

- ・今年度も子育て講演会や夏祭りや秋祭り、親子で文化に親しんでもらおうとファミリーコンサートの実施等、保育園とつながる方々と一緒に楽しく集える交流の場になりました。
- ・保育学生の実習や中学生の体験学習の受け入れを行いました。

2、保育要求について

- ・子育て支援の一環として一時預かり保育を実施し、年間を通して1500名以上の利用者がありました。多様な子育て要求を実感し地域の子育て支援の必要性を確認しました。
- ・入園を希望される方を含め件の問い合わせと保育園見学者も多数有りました。
問い合わせ状況は・・・ホームページ・在園児兄弟・知人より・市のリストを見て 等々
入園を希望する理由は・・・産休育休明け・就労予定 等々
- ・ありんこ保育園の保育をより広く知ってもらうためホームページの掲載内容の見直しを図りましたが、定期更新回数が少なく今後の課題となりました。
- ・働く父母達の多様な保育要求に答えられるよう引き続き延長保育、乳児保育、土曜保育、発達支援児

保育、学童保育（夏休み一定期間OBのみ）等を実施してきました。

Ⅲ) その他

1、職員の労働環境の整備

- ・賃金支給、研修経費支給、被服費の貸与等ほぼ予定通りの実施となりました。
- ・職員個別の面接を行い、1年間の反省と課題設定を行いました。

2、施設環境の整備

- ・職員駐車場整備 園内外の樹木の剪定・草刈 夏場の日よけ設置 ホール・0, 1歳児床の補修
サッシ鍵修理 ホール・ひよこ暖房機入れ替え コンセント修理 丸太ベンチ撤去
ガステーブル入れ替え AED入れ替え
- ・保育業務支援システムを導入（業務効率化推進事業費補助金）
- ・防犯カメラシステム・インターホン設置（宇都宮市児童福祉施設整備費補助金）
- ・定期的な床清掃(年6回)、給食室清掃(年2回)他園内外環境整備を実施しました。

3、子どもたちを守る保育活動

- ・全国保育団体連絡会による集会・パレードに参加しました。
- ・全国保育団体連絡会や栃木保育連絡会と情報交換をし、情勢を学び署名活動等に取り組みました。

4、苦情・要望申し出

- ・散歩時安全対策について要望、1件。〈体制を保障して散歩にでかけるようにした。〉
- ・嘔みつき、ケガ、園の方針、園、保育士の対応について要望、2件。〈園で起きたことについて謝罪。より丁寧に保育し、最善を尽くしていくようにした。〉
- ・保育士の職場への電話連絡の対応について要望、1件。〈謝罪し、保護者以外の方には子どもの様子を伝えないようにした。〉

5、事故報告

- ① 友達をおんぶしていて転倒、左肘を骨折。(子どもたちの様子をしっかり見ていく。)
- ② 枯草で指を切る。(遊んでいる近くに危険なものがないかを事前に確認する。)
- ③ 午睡中、蜂に刺される。(午睡中の見守りをしっかり行う。)
- ④ いわしかば焼きの小骨がのどにひっかかるが、受診前にとれる。(骨に気をつけて食べるよう声かけをする。)
- ⑤ うんていで遊んでいて腕を痛める。(子どもたちが遊んでいる様子をしっかり見ていく。)
- ⑥ 下り坂で転んで前歯が欠ける。(危険な場所では保育士が手をつないで歩く。)
- ⑦ 友達に押されてしまい背中を痛める。(散歩時は2人体制を保障し、子どもたちの様子をしっかりみていく。)
- ⑧ ぬれ縁に出る時に踏み外しけが。(子どもたちの様子をしっかり見ていく)
- ⑨ 園庭で遊んでいるときに子どもたち同士がぶつかってしまい、二人ともけが。(子どもたちの遊んでいる様子をしっかり見ていく。)
- ⑩ 物を持ちながら歩き、転んでしまい鼻の下を切る。(危険なものは手の届かないところに置く。)

2016年度一時預かり保育室「こっこのいえ」の事業報告

1) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	
開設日数	20	19	22	20	20	20	121	
一時預かり数	110	96	106	103	93	129	637	
前年度預かり数	151	122	145	134	90	90	732	
前年度比	-41	-26	-39	-31	3	39	-95	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
開設日数	20	20	19	19	20	22	120	241
一時預かり数	136	152	163	139	155	151	896	1533
前年度預かり数	118	94	134	119	145	181	791	1523
前年度比	18	58	29	20	10	-30	105	10

4) 職員体制 嘱託職員 1名 パート職員 2名 アルバイト職員 1名

- ・3月末・・・アルバイト職員退職
- ・その日の利用人数に応じて体制を組んでいる。

5) 利用状況

- ・8月までは利用人数が少なかった。
- ・0, 1歳児の利用が増えている。
- ・ポリテクセンター（栃木職業能力開発促進センター）からの依頼により2名のお子様をお預かりした。
- ・TBC子育て支援員の実習5名受け入れをした。
- ・今年度から一時預かり事業利用料補助事業が実施され第3子以降の利用料が無料となった。

申し込み者・・・2016年度82名（2016/4月～2017/3月まで総申し込み数 541名）

年齢別利用児 0歳児 26名 1歳児 31名 2歳児 37名

3歳児 8名 4歳児 11名 5歳児 5名 発達支援児 4名

7) 施設環境の整備

- ・なし

8) 成果と課題

- ・問い合わせ件数は多く、見学・申し込み・利用者が増えています。地域の中の多様な一時的保育の要望に応えることができ開設の目的であった子育て支援の役割を果たしていることを実感しています。
- ・他園では実施していない0歳児や発達支援児の受け入れも行い、利用者の要望に応えることができます。
- ・職員間の打ち合わせは月1回実施し、保育状況の把握や職員間の連絡を図っています。園からは園長・副主任・事務長が参加し保育園との連絡を取っています。また、責任者が全体会議(年3回)に出席し状況報告や園との関わり等話し合ってきました。
- ・職員研修として保育園職員と一緒に発達について学びました。

- その日の利用人数、年齢も様々ですが、園庭あそびや散歩等自然との関わりを大切に保育に当たっています。誕生会や行事の参加等保育園児とも自然な形での交流になっています。
- 第3子以降の利用料が無料になったが、さらに各家庭の経済状況などを考慮した補助事業の実施を行政に働きかけていく必要がある。